

タイトル : School of Perfume! ~文化祭 編~

企画意図

「Challenger」というタイトルは、Perfume が結成 20 周年・メジャーデビュー15 周年を迎えるタイミングでリリースする曲として、これ以上のモノは無い、それだけ Perfume の本質のタイトルのような気がします。

そんな「Challenger」というタイトルの MV に適したテーマに僕は「学校」を選びました。

Perfume もレギュラーとして参加しているラジオ番組「SCHOOL OF LOCK!」、2019 年 9 月 30 日に、とーやま校長が退任すると本ラジオ内で発表されました。とーやま校長はその日、「悩みや寂しさ、辛い気持ちを抱えている人達が集まる学校としての役割を SCHOOL OF LOCK! が持つなら、終着点は SCHOOL OF LOCK! を必要とする人が居なくなること。」という旨のコメントをしていました。このコメントと“Perfume とあなた(僕達)”が重なりました。

Perfume を必要としている人達がいるから Perfume が存在している。何より Perfume 本人が一番 Perfume を必要としていると思っています。だからこそ 20 周年を迎えられたし、これからも続いていくんだと思います。

僕も Perfume が存在しているお陰で、辛いことも悲しいことも乗り越えて今日まで生きています。

でも永遠に続くものは無い。Perfume だっていつか終わりが来る。その時、Perfume 本人、Perfume を支えてきたスタッフ、Perfume を愛した全ての人が、Perfume が終わっても生きていけるように。

義務教育で殆どの方が学校に通います。そこで生きていくための様々なことを学び、卒業する。保護者の元を離れても、生きていくために必要な期間。

この企画では、今の Perfume が原点に立ち返って、右も左も分からず Challenge した少女時代を、「文化祭でダンスを披露する学生が、文化祭を迎えるまでの努力と奇跡の物語」として、Perfume を表現してみたい。

そして、高校生の僕が映像作家になるという夢を叶えるための第一歩を、この素敵なコンテストで踏むことができたなら。そんな思いで応募しました。